

Red Hat Linux 9 (サーバーブレード用) 使用上の留意事項

本書は PRIMERGY に Linux をインストールしてご使用いただく時の留意事項について記載したものです。Linux をご使用の際には必ずご覧くださいますようお願い申し上げます。本書に記載されている内容は、弊社にて動作を確認したものです。予告なしに変更される場合もございますので、あらかじめご了承ください。

なお、弊社では、お客さまに安心して Linux をご使用していただくために、**有償サポート・サービス(SupportDesk Product 基本サービス)**をご用意しております。ご契約いただきましたお客さまには、本書に関するご質問、インストールや運用の際に発生する疑問やトラブルなどについても対応させていただいておりますので、是非ご検討ください。

目次

| | |
|---|---|
| 1. ご使用の前に..... | 2 |
| 1.1 インストールモジュール一覧について..... | 2 |
| 2. インストールについて..... | 2 |
| 2.1 インストール作業手順について..... | 2 |
| 2.1.1 インストールの事前準備について..... | 2 |
| 2.1.2 インストール手順について..... | 2 |
| 3. 運用時の留意事項..... | 3 |
| 3.1 Red Hat Linux 9(BX300 用)のパッケージインストールについて..... | 3 |
| 3.2 シャットダウン時の電源切断について..... | 3 |
| 3.3 USBフロッピーディスクの使用について..... | 3 |
| 3.4 FastCheckユーティリティのインストール方法..... | 4 |
| 3.5 レスキューモードを使用したシステムの起動方法..... | 5 |
| 4. 周辺装置・カード増設時について..... | 7 |
| 4.1 LANカード(PG-1892L)の増設について..... | 7 |
| 5. その他..... | 7 |
| 5.1 サウンド機能について..... | 7 |

添付資料 BX300(Pentium3)用インストール作業手順について

| | |
|--|----|
| 1. インストール作業手順について..... | 8 |
| 2. ドライバディスクの作成..... | 8 |
| 2.1 オンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクの作成..... | 8 |
| 3. ドライバの組み込み..... | 9 |
| 3.1 システムインストール先デバイスで使用するドライバ選択..... | 9 |
| 3.2 LANドライバの選択..... | 10 |
| 4. システムのインストールについて..... | 10 |
| 5. 環境設定..... | 10 |
| 5.1 カーネルのアップデート..... | 11 |
| 5.2 ドライバのアップデート..... | 12 |
| 5.3 /boot/grub/grub.confの編集..... | 13 |

| | |
|------------------------|----|
| 5.4 PCITABLEの置き換え..... | 14 |
|------------------------|----|

添付資料 BX300(Pentium-M)用インストール作業手順について

| | |
|--|----|
| 1. インストール作業手順について..... | 15 |
| 2. ドライバディスクの作成..... | 15 |
| 2.1 オンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクの作成..... | 15 |
| 3. ドライバの組み込み..... | 16 |
| 3.1 システムインストール先デバイスで使用するドライバ選択..... | 16 |
| 3.2 LANドライバの選択..... | 18 |
| 4. システムのインストールについて..... | 19 |
| 5. 環境設定..... | 19 |
| 5.1 カーネルのアップデート..... | 21 |
| 5.2 ドライバのアップデート..... | 22 |
| 5.3 /boot/grub/grub.confの編集..... | 22 |
| 5.4 拡張LANカードの認識..... | 23 |
| 5.5 システムの再起動..... | 23 |
| 添付資料 Red Hat Linux 9 インストール手順概要..... | 24 |
| 添付資料 パッケージモジュール一覧(Pentium3 用)..... | 28 |
| 添付資料 パッケージモジュール一覧(Pentium-M用)..... | 33 |

1. ご使用の前に

1.1 インストールモジュール一覧について

弊社が動作確認した環境のパッケージ一覧は以下の添付資料を参照してください。

[Pentium3]

[添付資料 パッケージモジュール一覧\(Pentium3 用\)](#)

[Pentium-M]

[添付資料 パッケージモジュール一覧\(Pentium-M用\)](#)

2. インストールについて

2.1 インストール作業手順について

2.1.1 インストールの事前準備について

システムをインストールする場合、事前に以下を準備してください。

- (1) [弊社ホームページ](#)から他のシステムでドライバキットをダウンロードして展開し、アップデートドライバキットCDを作成してください。

2.1.2 インストール手順について

システムをインストールするためには、以下の作業が必要となります。

なお、インストール作業は機種別のインストール作業手順を参照してください。

[BX300(Pentium3)の場合]

“[添付資料BX300\(Pentium3\)用インストール作業手順について](#)”を参照してください。

[BX300(Pentium-M)の場合]

“[添付資料BX300\(Pentium-M\)用インストール作業手順について](#)”を参照してください。

3. 運用時の留意事項

3.1 Red Hat Linux 9(BX300 用)のパッケージインストールについて

Red Hat Linux は使用目的に応じて最適なシステムを構築するためインストールタイプが用意されています。このため、インストールタイプによってはお客様の必要とするパッケージがインストールされていない場合があります。必要とするパッケージがインストールされていない場合、root でログインして以下の手順でインストールしてください。

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
# cd /mnt/cdrom/RedHat/RPMS
# rpm -ivh <package_file>
  例)make のパッケージをインストールする場合
# rpm -ivh make-3.79.1-17.i386.rpm
# cd /
# umount /mnt/cdrom
# eject
```

3.2 シャットダウン時の電源切断について

シャットダウン時自動的に電源が切断されません。

コンソール画面に「Power down」と表示されてから、電源スイッチを押して電源を切断してください。

なお、ServerView をインストールした環境では、シャットダウン時自動的に電源が切断されます。

3.3 USB フロッピーディスクの使用について

USB フロッピーディスクを使用する場合は、以下の方法によりご使用ください。

- (1) 初回起動時にマウント先を作成します。

```
# mkdir /mnt/floppy
```

- (2) フロッピーディスクをマウントします。

```
#mount /dev/sdb /mnt/floppy
```

ハードディスクドライブの構成によってデバイス名が異なります。

/dev/sdb は、フロッピーディスクドライブに該当するデバイス名を指定してください。

3.4 FastCheck ユーティリティのインストール方法

オンボード IDE-RAID 構成でシステムを使用する場合 RAID 管理ツールとして、FastCheck ユーティリティを使用してください。

[弊社ホームページ](#)から、他のシステムにてインストールドライバキットをダウンロードして展開し、インストールします。

例としてインストールドライバキットを /var/tmp/RHL9 に展開した場合のインストール手順を記載します。root にてログインし、以下の操作を実施してください。

[インストール方法]

- Pentium3 の場合

- (1) rpm ファイルを適用します。
cd /var/tmp/RHL9/INST_KIT
rpm -ivh ftsnmpd-1.31.0064-8.i386.rpm
- (2) システムを再起動します。
shutdown -r now

- Pentium-M の場合

- (1) rpm ファイルを適用します。
cd /var/tmp/RHL9/INST_KIT
rpm -ivh ftsnmpd-1.31.0064-9.i386.rpm
- (2) システムを再起動します。
shutdown -r now

[起動方法]

X Window System を起動し、ターミナルウィンドウからコマンドを起動します。

```
# ftc &
```

FastCheck ユーティリティのデフォルトの設定を変更した場合、設定ファイルは上記コマンドを実行したディレクトリに作成されます。

設定ファイルが存在しないディレクトリで上記コマンドを実施するとデフォルトの設定で起動します。

FastCheck ユーティリティを使用の場合は、実行するディレクトリを固定してご使用することをお勧めします。

3.5 レスキューモードを使用したシステムの起動方法

インストール CD をレスキューモードで起動することにより、CD だけでシステムを起動する事ができます。これを使用することにより、トラブルが発生して起動しなくなったシステムを復旧できる可能性があります。

以下に、レスキューモードを使用したシステムの起動方法を示します。

- (1) インストール CD から起動し、以下のように入力してレスキューモードでシステムを起動します。

```
boot: linux rescue noprobe ide0=0x1f0,0x3f6,14 ide1=0x170,0x376,15 ide2=0 ¥  
      ide3=0 ide4=0 ide5=0 ide6=0 ide7=0 ide8=0 ide9=0
```

“¥” は継続行を意味します。入力は不要です。

- (2) “Choose a Language”画面で“English”を選択します。
ここで“Japanese”を選択すると、LANG=ja_JP.UTF-8 の環境となります。
一部のコマンドで画面表示が正常に行われないなどの不具合があるため、
“English”を選択します。
- (3) “Keyboard Type”画面でご使用のキーボードに合わせた「Keyboard Type」を選択してください。
- (4) 以下のメッセージが表示されるので、「Local CDROM」を選択し、「OK」を選択します。

Rescue Method

What type of media contains the rescue img ?

- (5) 以下のメッセージが表示されるので、「Select driver」を選択します。

No driver found

```
Unable to find any devices of the type  
Needed ofr this installation type.  
Would you like to manually select your  
Driver or use a driver disk ?
```

- (6) ドライバ一覧が表示された画面にて[F2]キーを押下します。
- (7) 以下のメッセージが表示されるので Pentium3 または、Pentium-M で作成したオンボード IDE-RAID/オンボード LAN ドライバディスクを挿入し、「OK」を選択します。

Insert Driver Disk

```
Insert your driver disk into /dev/sda  
And press “OK” to continue.
```

- (8) ドライバ一覧が表示されるので以下を選択し「OK」を選択します。

「Promise Fasttrak IDE RAID controller (ft)」

- (9) LAN ドライバを選択します。
デバイス画面で「Add Device」を選択します。

- (10) 以下のオンボード LAN 用ドライバを選択し「OK」を選択します。

「Broadcom NetXtreme BCM 570x Gigabit Ethernet adapter (bcm5700)」

- (11) デバイス画面で「Done」を選択し、ドライバの選択を終了します。
- (12) “Setup Networking”画面でネットワークの設定を行います。
設定する場合には「Yes」を、設定しない場合には「No」を選択します。
「Yes」を選択した場合、現在 eth0 として認識されている LAN カードの IP アドレスの設定画面に移行します。画面の指示に従って IP アドレスを設定してください。
- (13) “Rescue”画面で既存のパーティションを自動的にマウントするか問い合わせがあるので「Continue」を選択します。
既存の Linux システムのルートパーティション(/)が/mnt/sysimage にマウントできた場合には、結果が表示されるので、「OK」を選択します。
- (14) プロンプトが表示されたら、chroot コマンドにて、ルートパスをハードディスクに変更します。

```
sh-2.05b# chroot /mnt/sysimage
```

- (15) 以上で、レスキューモードでの起動が完了します。なお、レスキューモードを抜けるには、exit コマンドを 2 回実行してください。

```
sh-2.05b# exit      chroot 環境から抜けます。  
sh-2.05b# exit      レスキューモードから抜け、再起動します。
```

4. 周辺装置・カード増設時について

4.1 LAN カード(PG-1892L)の増設について

root でログインした後、以下の手順でドライバの組み込みをしてください。次回のシステム再起動時から LAN カードが自動的に認識されるようになります。

LAN カードの増設を行った場合、オンボード LAN のネットワークインターフェース名が eth0 から eth1 あるいは eth2,eth3...に変更となる場合があります。

この場合、netconfig を使用して再度ネットワークの設定を行ってください。

| カード型番 | BX300(Pentium3) | BX300(Pentium-M) |
|------------------|-----------------|------------------|
| LAN カード PG-1892L | - | |

- (1) e1000 ドライバをロードします。

```
# insmod e1000
```

- (2) netconfig を使用してネットワーク設定を行ってください。

```
# netconfig -d ethN (Nは設定するネットワークデバイス番号)
```

- (3) /etc/modules.conf のファイルの編集を行います。

[編集前]

```
alias ethN bcm5700
```

[編集後]

```
alias ethN bcm5700
```

```
alias ethN e1000
```

機種によって記載内容が異なる場合があります。

- (4) mkinitrd コマンドにより initrd を作成します。

ご使用のカーネルに合わせて、mkinitrd コマンドにより initrd を作成してください。

ご使用のカーネルを確認する場合は、以下のコマンドを実施してください。

```
# uname -r
```

以下に、コマンドの実行例を示します。

[2.4.20-30.9 (シングル CPU 向けのカーネル)]

```
# cp /boot/initrd-2.4.20-30.9.img /boot/initrd-2.4.20-30.9.img.bak
```

上書きを確認するメッセージが表示されるので “y” を入力し、“Enter” を押下してください

```
# mkinitrd -f /boot/initrd-2.4.20-30.9.img 2.4.20-30.9
```

- (5) システムを再起動します。

以下の操作にて、システムを再起動します。

```
# shutdown -r now
```

5. その他

5.1 サウンド機能について

サウンド機能はサポートしていません。

- 以上 -

添付資料 BX300(Pentium3)用インストール作業手順について

1. インストール作業手順について

システムをインストールするためには、以下の作業が必要となります。

| 順序 | BX300(Pentium3)の場合 | |
|----|--------------------|----------------------------|
| 1 | ドライバディスク作成 | (“ 2 ” 参照) |
| 2 | ドライバの組み込み | (“ 3 ” 参照) |
| 3 | システムのインストール | (“ 4 ” 参照) |
| 4 | 環境設定 | (“ 5 ” 参照) |
| 5 | システム再起動 | |

2. ドライバディスクの作成

インストール時に使用する以下のドライバディスクを作成します。

< オンボード IDE-RAID/オンボード LAN ドライバ >

オンボードIDE-RAID/オンボードLAN : オンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクの作成 (“[2.1 オンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクの作成](#)” 参照)

Windows システムまたは DOS システム環境でドライバディスクを作成するためのツール (rawrite.exe / rawwritewin.exe)は、Red Hat Linux 9 のインストール CD1 に収録されています。以降の例では、rawrite.exe または rawwritewin.exe を C ドライブにコピー後使用しています。(Windows XP でツールを使用する場合は、rawwritewin.exe の使用をお勧めします。)

2.1 オンボード IDE-RAID/オンボード LAN ドライバディスクの作成

以下の手順でドライバディスクを作成してください。

- Linux システムでの作成方法

例としてインストールドライバキットを /var/tmp/RHL9 に展開した場合を説明します。

```
# dd if=/var/tmp/RHL9/INST_KIT/ftbcm5.bim of=/dev/fd0 bs=1440k count=1
```

- Windows システムまたは DOS システムでの作成方法

例としてインストールドライバキットを c:\var\%tmp%\RHL9 に展開した場合を説明します。

[rawrite の場合]

```
C:\>rawrite -f c:\var\%tmp%\RHL9\INST_KIT\ftbcm5.bim -d a
```

[rawwritewin の場合]

```
C:\>rawwritewin
```

GUI が表示されるので、c:\var\%tmp%\RHL9\INST_KIT\ftbcm5.bim を選択し、“Write”ボタンをクリックします。

“Image successfully written.”が表示されれば終了です。

オンボードIDE-RAID を使用する場合は、FastCheck ユーティリティでハードディスクドライブ の管理をすることをお勧めします。FastCheck ユーティリティのインストールについては、“[Red Hat Linux 9 \(サーバーブレード用\)使用上の留意事項の 3.4 FastCheckユーティリティのインストール方法](#)”を参照してください。

3. ドライバの組み込み

以下の手順でドライバの組み込みをしてください。

| 順序 | |
|----|--|
| 1 | システムインストール先デバイスで使用するドライバ選択 (“3.1” 参照) |
| 2 | LANドライバの選択 (“3.2” 参照) |
| 3 | システムのインストールについて (“4.” へ) |

3.1 システムインストール先デバイスで使用するドライバ選択

以下の操作を行ってください。

- (1) インストール CD から起動し、以下のように入力してインストールを開始します。

```
boot:linux noprobe ide0=0x1f0,0x3f6,14 ide1=0x170,0x376,15 ide2=0 ¥  
ide3=0 ide4=0 ide5=0 ide6=0 ide7=0 ide8=0 ide9=0
```

“¥” は継続行を意味します。入力は不要です。

- (2) 以下のメッセージが表示されるので、Devices画面で「Add Device」を選択します。

Devices

```
No device drivers have been loaded for your  
System. Would you like to load any now ?
```

- (3) ドライバ一覧が表示された画面にて[F2]キーを押下します。

- (4) 以下のメッセージが表示されるので、「sda」を選択し、「OK」を選択します。

Driver Disk Source

```
You have multiple devices which could  
serve as sources for a driver disk.  
Which would you like to use?
```

- (5) フロッピーディスク挿入指示画面が表示されるので “[2.1 オンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクの作成](#)” で作成したオンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクを挿入し、「OK」を選択します。

- (6) ドライバ一覧が表示されるので以下のドライバを選択し、「OK」を選択します。

「Promise Fasttrak IDE RAID controller (ft)」

3.2 LAN ドライバの選択

以下の操作を行ってください。

- (1) 以下のメッセージ画面が表示されますので、「Add Device」を選択します。

Devices

The following devices have been found on your system

- (2) 以下のメッセージ画面が表示されます。

Select Device Driver to Load

Please select the driver below which you wish to load. If it does not appear and you have a driver disk, press F2.

- (3) ドライバ一覧が表示されるので以下のドライバを選択し、「OK」を選択します。

「Broadcom NetXtreme BCM 570x Gigabit Ethernet adapter (bcm5700)」

- (4) 以下のメッセージが表示されますので、「Done」を選択します。

Devices

The following devices have been found on your system.

4. システムのインストールについて

インストールを行う場合には、“[添付資料 Red Hat Linux 9 インストール手順概要](#)”を参考
に実施してください。資料では、例として弊社がPRIMERGY BX300(Pentium3)で動作確認を
実施した環境と同じ(出荷時と同じ)パッケージをインストールする方法を示しています。

5. 環境設定

インストール完了後に、以下の操作が必要になります。

インストール完了画面が表示されたら、[Ctrl]+[Alt]+[F2]で、コマンド入力画面に移行します。

- (1) “[2.1 オンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクの作成](#)”で作成したオ
ンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクをフロッピーディスクドライブ
に挿入し、以下の操作により環境設定を行います。

```
# mkdir /tmp/drivers
# mount /dev/sda /tmp/drivers
# cd /tmp/drivers
# sh ./setup
# cd /
# umount /tmp/drivers
```

オンボード IDE-RAID/オンボード LAN ドライバディスクを取り出してください。

- (2) /etc/fstab を編集します。(swap パーティションを sdb から sda に変更します。)

```
# chroot /mnt/sysimage
# vi /etc/fstab
```

[編集前]

```
/dev/sdb3 swap swap defaults 0 0
```

[編集後]

```
/dev/sda3 swap swap defaults 0 0
```

- (3) /boot/grub/device.map を編集します。
(ハードディスク情報の sdb を sda に変更します。)

```
# vi /boot/grub/device/map
# exit
```

[編集前]

```
(hd0) /dev/sdb
```

[編集後]

```
(hd0) /dev/sda
```

- (4) [Ctrl]+[Alt]+[F7]で、インストール完了の画面に移行して「終了」を選択します。
選択すると、自動的に再起動します。

5.1 カーネルのアップデート

再起動後、以下の手順でカーネルをアップデートしてください。

アップデートファイルは、他のシステムでレッドハット株式会社のホームページ
(<https://rhn.redhat.com>)から入手してください。

[ダウンロードファイル]

```
kernel-2.4.20-20.9.i686.rpm
kernel-BOOT-2.4.20-20.9.i386.rpm
kernel-bigmem-2.4.20-20.9.i686.rpm
kernel-doc-2.4.20-20.9.i386.rpm
kernel-smp-2.4.20-20.9.i686.rpm
kernel-source-2.4.20-20.9.i386.rpm
```

以下の手順は、ダウンロードしたファイルを/var/tmp/RHL9 配下に格納した場合の操作を記述します。

- (1) カーネルパッチに問題(破損,改ざんなど)が無いかチェックします。

```
# rpm --import /usr/share/doc/rpm-4.2/RPM-GPG-KEY
# rpm -qa gpg-pubkey* (gpg-pubkey-db42a60e-37ea5438 であることを確認します。)
# cd /var/tmp/RHL9
# rpm -K kernel-*
kernel-2.4.20-20.9.i686.rpm: (sha1) dsa sha1 md5 gpg OK
kernel-BOOT-2.4.20-20.9.i386.rpm: (sha1) dsa sha1 md5 gpg OK
kernel-bigmem-2.4.20-20.9.i686.rpm: (sha1) dsa sha1 md5 gpg OK
kernel-doc-2.4.20-20.9.i386.rpm: (sha1) dsa sha1 md5 gpg OK
kernel-smp-2.4.20-20.9.i686.rpm: (sha1) dsa sha1 md5 gpg OK
kernel-source-2.4.20-20.9.i386.rpm: (sha1) dsa sha1 md5 gpg OK
(全てのファイルで“OK”と表示されている事を確認します。)
```

- (2) /etc/modules.conf を編集します。

[編集前]

```
alias scsi_hostadapter ft
alias eth0 bcm5700
alias eth1 bcm5700
```

[編集後]

```
#alias scsi_hostadapter ft
#alias eth0 bcm5700
#alias eth1 bcm5700
```

- (3) カーネルのアップデートを行います。

```
# rpm -Fvh kernel-2.4.20-20.9.i686.rpm ¥  
kernel-smp-2.4.20-20.9.i686.rpm ¥  
kernel-bigmem-2.4.20-20.9.i686.rpm ¥  
kernel-BOOT-2.4.20-20.9.i386.rpm ¥  
kernel-doc-2.4.20-20.9.i386.rpm ¥  
kernel-source-2.4.20-20.9.i386.rpm
```

“¥” は継続行を意味します。入力は不要です。

- (4) (2)で編集した/etc/modules.conf ファイルを以下のように戻します。

[編集前]

```
#alias scsi_hostadapter ft  
#alias eth0 bcm5700  
#alias eth1 bcm5700
```

[編集後]

```
alias scsi_hostadapter ft  
alias eth0 bcm5700  
alias eth1 bcm5700
```

5.2 ドライバのアップデート

“[Red Hat Linux 9 \(サーバブレード用\)使用上の留意事項の 2.1.1 インストールの事前準備について](#)”で作成したアップデートドライバキットCDより以下の手順でドライバをアップデートしてください。

- (1) ドライバをアップデートするためのユーティリティのインストールをします。
アップデートドライバキット CD をセットします。

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom  
# cd /mnt/cdrom  
# rpm -ivh fsc-utils-0.3-12.i386.rpm
```

- (2) ドライバのアップデートをします。

```
# primesetup -b --allmodules -r /mnt/cdrom  
# cd /  
# umount /mnt/cdrom  
# eject
```

アップデートドライバキット CD を取り出します。

- (3) ご使用のカーネルに合わせて、初期 RAM ディスクファイルの作成をします。
[シングル CPU 向けのカーネルの場合]

```
# cp /boot/initrd-2.4.20-20.9.img /boot/initrd-2.4.20-20.9.img.bak  
# mkinitrd -f /boot/initrd-2.4.20-20.9.img 2.4.20-20.9
```

[マルチ CPU 向けのカーネルの場合]

```
# cp /boot/initrd-2.4.20-20.9smp.img /boot/initrd-2.4.20-20.9smp.img.bak  
# mkinitrd -f /boot/initrd-2.4.20-20.9smp.img 2.4.20-20.9smp
```

5.3 /boot/grub/grub.conf の編集

以下の手順で/boot/grub/grub.confの編集をします。

grub.conf に“psaux-reconnect”を追記しますが、“psaux-reconnect”の前後に空白を入れてください。

```
# vi /boot/grub/grub.conf
```

[編集前]

```
title Red Hat Linux (2.4.20-20.9smp)
  root (hd0,0)
  kernel /vmlinuz-2.4.20-20.9smp ro root=LABEL=/
    ide0=0x1f0,0x3f6,14 ide1=0x170,0x376,15 ide2=0 ide3=0 ide4=0
    ide5=0 ide6=0 ide7=0 ide8=0 ide9=0
  initrd /initrd-2.4.20-20.9smp.img
title Red Hat Linux (2.4.20-20.9)
  root (hd0,0)
  kernel /vmlinuz-2.4.20-20.9 ro root=LABEL=/
    ide0=0x1f0,0x3f6,14 ide1=0x170,0x376,15 ide2=0 ide3=0 ide4=0
    ide5=0 ide6=0 ide7=0 ide8=0 ide9=0
  initrd /initrd-2.4.20-20.9.img
```

[編集後]

```
title Red Hat Linux (2.4.20-20.9smp)
  root (hd0,0)
  kernel /vmlinuz-2.4.20-20.9smp ro root=LABEL=/
    psaux-reconnect ide0=0x1f0,0x3f6,14 ide1=0x170,0x376,15
    ide2=0 ide3=0 ide4=0 ide5=0 ide6=0 ide7=0 ide8=0 ide9=0
  initrd /initrd-2.4.20-20.9smp.img
title Red Hat Linux (2.4.20-20.9)
  root (hd0,0)
  kernel /vmlinuz-2.4.20-20.9 ro root=LABEL=/
    psaux-reconnect ide0=0x1f0,0x3f6,14 ide1=0x170,0x376,15
    ide2=0 ide3=0 ide4=0 ide5=0 ide6=0 ide7=0 ide8=0 ide9=0
  initrd /initrd-2.4.20-20.9.img
```

5.4 PCITABLE の置き換え

例としてアップデートドライバキットを/var/tmp/RHL9 に展開した場合を説明します。

アップデートドライバキット CD 内に格納されている `pcitable` は使用しないでください。

```
# kon
# cd /var/tmp/RHL9/UPDATE_KIT
# cp pcitable /usr/share/hwdata
    上書き確認のメッセージが表示されるので、“y” を入力し、“Enter”を押下します。
# exit
# shutdown -r now
```

起動時に以下のメッセージが表示されますが、動作上特に問題はありません。

[メッセージ]

```
noname insmod : /lib/2.4.20-20.9smp/kernel/drivers/parport/parport_pc.o :
init_modle : Device or resource busy
noname insmod : Hint : insmod errors : can be caused by incorrect module
parameters,
including invalid IO or IRQ parameters.    You may End more
information ins syslog output from dmesg
noname insmod : /lib/2.4.20-20.9smp/kernel/drivers/parport/parport_pc.o :
insmod : parport_lowlevel
```

[回避方法]

以下の操作により、メッセージが表示されなくなります。

```
# chkconfig --level 2345 cups off
# chkconfig cups-lpd off
```

添付資料 BX300(Pentium-M)用インストール作業手順について

1. インストール作業手順について

システムをインストールするためには、以下の作業が必要となります。

| 順序 | BX300(Pentium-M)の場合 | |
|----|---------------------|----------------------------|
| 1 | ドライバディスク作成 | (“ 2 ” 参照) |
| 3 | ドライバの組み込み | (“ 3 ” 参照) |
| 4 | システムのインストール | (“ 4 ” 参照) |
| 5 | 環境設定 | (“ 5 ” 参照) |
| 6 | システム再起動 | |

2. ドライバディスクの作成

インストール時に使用する以下のドライバディスクを作成します。

< オンボード IDE-RAID/オンボード LAN ドライバ >

オンボードIDE-RAID/オンボードLAN : オンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクの作成 (“[2.1 オンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクの作成](#)” 参照)

Windows システムまたは DOS システム環境でドライバディスクを作成するためのツール (rawrite.exe / rawwritewin.exe)は、Red Hat Linux 9 のインストール CD1 に収録されています。以降の例では、rawrite.exe または rawwritewin.exe を C ドライブにコピー後使用しています。(Windows XP でツールを使用する場合は、rawwritewin.exe の使用をお勧めします。)

2.1 オンボード IDE-RAID/オンボード LAN ドライバディスクの作成

以下の手順でドライバディスクを作成してください。

- Linux システムでの作成方法

例としてインストールドライバキットを /var/tmp/RHL9 に展開した場合を説明します。

```
# dd if=/var/tmp/RHL9/INST_KIT/ftbcm5.bim of=/dev/fd0 bs=1440k count=1
```

- Windows システムまたは DOS システムでの作成方法

例としてインストールドライバキットを c:\%var%\tmp\RHL9 に展開した場合を説明します。

[rawrite の場合]

```
C:\>rawrite -f c:\%var%\tmp\RHL9\INST_KIT\ftbcm5.bim -d a
```

[rawwritewin の場合]

```
C:\>rawwritewin
```

GUIが表示されるので、c:\%var%\tmp\RHL9\INST_KIT\ftbcm5.bim

を選択し、“Write”ボタンをクリックします。

“Image successfully written.”が表示されれば終了です。

オンボードIDE-RAID を使用する場合は、FastCheck ユーティリティでハードディスクドライブ の管理をすることをお勧めします。FastCheck ユーティリティのインストールについては、“[Red Hat Linux 9 \(サーバーブレード用\)使用上の留意事項の 3.4 FastCheckユーティリティのインストール方法](#)”を参照してください。

3. ドライバの組み込み

以下の手順でドライバの組み込みをしてください。

| 順序 | |
|----|--|
| 1 | システムインストール先デバイスで使用するドライバ選択 (“3.1” 参照) |
| 2 | LANドライバの選択 (“3.2” 参照) |
| 3 | システムのインストールについて (“4.” へ) |

3.1 システムインストール先デバイスで使用するドライバ選択

CD-R/RW ドライブの型によって、手順が異なります。

以下の操作を行ってください。

[CD-R/RW ドライブが FMV-NRW53S の場合]

(1) から (6) を実施してください。

[CD-R/RW ドライブが FMV-NRW52S の場合]

(7) から (14) を実施してください。

[CD-R/RW ドライブが FMV-NRW53S の場合の手順]

(1) インストール CD から起動し、以下のように入力してインストールを開始します。

```
boot:linux noprobe ide0=0x1f0,0x3f6,14 ide1=0x170,0x376,15 ide2=0 ¥
ide3=0 ide4=0 ide5=0 ide6=0 ide7=0 ide8=0 ide9=0
```

“¥”は継続行を意味します。入力は不要です。

(2) 以下のメッセージが表示されるので、Devices画面で「Add Device」を選択します。

Devices

The following devices have been found on your system.

(3) ドライバ一覧が表示された画面にて[F2]キーを押下します。

(4) 以下のメッセージが表示されるので、「sda」を選択し、「OK」を選択します。

Driver Disk Source

You have multiple devices which could
serve as sources for a driver disk.
Which would you like to use?

(5) フロッピーディスク挿入指示画面が表示されるので、[”2.1 オンボードIDE-RAID/
オンボードLANドライバディスクの作成”](#) で作成したオンボードIDE-RAID/オン
ボードLANドライバディスクを挿入し、「OK」を選択します。

(6) ドライバ一覧が表示されるので以下のドライバを選択し、「OK」を選択します。
選択後、[“3.2 LANドライバの選択”](#)を実施してください。

「Promise Fasttrak IDE RAID controller (ft)」

[CD-R/RW ドライブが FMV-NRW52S の場合の手順]

- (7) インストールCDから起動し、以下のように入力してインストールを開始します。

```
boot:linux noprobe ide0=0x1f0,0x3f6,14 ide1=0x170,0x376,15 ide2=0 ¥  
ide3=0 ide4=0 ide5=0 ide6=0 ide7=0 ide8=0 ide9=0
```

“¥” は継続行を意味します。入力は不要です。

- (8) 以下のメッセージが表示されるので、Choose a Language 画面で「Japanese」を選択し、「OK」を選択します。

Choose a Language

what language would you like to use
during the installation process?

- (9) キーボードの種類画面にて、「jp106」を選択し、「OK」を選択します。

キーボードの種類

ご使用のキーボードの種類を指定してください

- (10) インストールの種類画面にて、「ローカル CDROM」を選択し、「OK」を選択します。

インストールの方法

インストール対象のパッケージを

- (11) ドライバが見つかりません画面にて、「ドライバを選択して下さい」を選択します。

ドライバが見つかりません

このインストールタイプに必要なデバイス
を見付けることが出来ません。手動でドラ
イバを選択しますか、又はドライバディス
クを使いますか？

- (12) ドライバ一覧が表示された画面にて[F2]キーを押下します。

- (13) フロッピーディスク挿入指示画面が表示されるので、”[2.1 オンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクの作成](#)” で作成したオンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクを挿入し、「OK」を選択します。

- (14) ドライバ一覧が表示されるので以下のドライバを選択し、「OK」を選択します。選択後、「3.2 LANドライバの選択」を実施してください。

「Promise Fasttrak IDE RAID controller (ft)」

3.2 LAN ドライバの選択

CD-R/RW ドライブの型によって、手順が異なります。

以下の操作を行ってください。

[CD-R/RW ドライブが FMV-NRW53S の場合]

(1) から (4) を実施してください。

[CD-R/RW ドライブが FMV-NRW52S の場合]

(5) から (8) を実施してください。

[CD-R/RW ドライブが FMV-NRW53S の場合の手順]

(1) 以下のメッセージ画面が表示されますので、「Add Device」を選択します。

Devices

The following devices have been found on your system.

(2) 以下のメッセージ画面が表示されます。

Select Device Driver to Load

Please select the driver below which you wish to load. If it does not appear and you have a driver disk, press F2.

(3) ドライバ一覧が表示されるので以下のドライバを選択し、「OK」を選択します。

「Broadcom NetXtreme BCM 570x Gigabit Ethernet adapter (bcm5700)」

(4) 以下のメッセージが表示されますので、「Done」を選択します。選択後、[“4. システムのインストールについて”](#)を実施してください。

Devices

The following devices have been found on your system.

[CD-R/RW ドライブが FMV-NRW52S の場合の手順]

(5) 以下のメッセージ画面が表示されますので、「デバイスの追加」を選択します。

デバイス

システム上で次のデバイスが見つかりました。

(6) 以下のメッセージ画面が表示されます。

ロードするデバイスドライバを選択して下さい

ロードするドライバを選択して下さい。必要なドライバが一覧にな

(7) ドライバ一覧が表示されるので以下のドライバを選択し、「OK」を選択します。

「Broadcom NetXtreme BCM 570x Gigabit Ethernet adapter (bcm5700)」

LAN カード(PG-1892L)が搭載されている場合は、LAN カードのドライバ選択は不要です。システムインストール後に手動で組み込むようになります。

- (8) 以下のメッセージが表示されますので、「終了」を選択します。選択後、「4. システムのインストールについて」を実施してください。

デバイス

システム上で次のデバイスが見つかりました。

4. システムのインストールについて

インストールを行う場合には、“[添付資料 Red Hat Linux 9 インストール手順概要](#)”を参考に実施してください。資料では、例として弊社がPRIMERGY BX300(Pentium-M)で動作確認を実施した環境と同じ(出荷時と同じ)パッケージをインストールする方法を示しています。

5. 環境設定

インストール完了後に、以下の操作が必要になります。

インストール完了画面が表示されたら、[Ctrl]+[Alt]+[F2] で、コマンド入力画面に移行します。

CD-R/RW ドライブの型によって、手順が異なります。

[CD-R/RW ドライブが FMV-NRW53S の場合]

(1) から (4) を実施してください。

[CD-R/RW ドライブが FMV-NRW52S の場合]

(5) から (8) を実施してください。

[CD-R/RW ドライブが FMV-NRW53S の場合の手順]

- (1) “[2.1 オンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクの作成](#)”で作成したオンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、以下の操作により環境設定を行います。

```
# mount /dev/sda /tmp/drivers
# cd /tmp/drivers
# sh ./setup
# cd /
# umount /tmp/drivers
```

オンボード IDE-RAID/オンボード LAN ドライバディスクを取り出してください。

- (2) /etc/fstab を編集します。(swap パーティションを sdb3 から sda3 に変更します。)

```
# chroot /mnt/sysimage
# vi /etc/fstab
```

[編集前]

```
/dev/sdb3 swap swap defaults 0 0
```

[編集後]

```
/dev/sda3 swap swap defaults 0 0
```

- (3) /boot/grub/device.map を編集します。
(ハードディスク情報の sdb を sda に変更します。)

```
# vi /boot/grub/device.map
# exit
```

[編集前]

```
(hd0) /dev/sdb
```

[編集後]

```
(hd0) /dev/sda
```

- (4) [Ctrl]+[Alt]+[F7] で、インストール完了の画面に移行して「終了」を選択します。選択すると、自動的に再起動します。再起動後、“[5.1 カーネルのアップデート](#)”を実施してください。

[CD-R/RW ドライブが FMV-NRW52S の場合の手順]

- (5) “[2.1 オンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクの作成](#)”で作成したオンボードIDE-RAID/オンボードLANドライバディスクをフロッピーディスクドライブに挿入し、以下の操作により環境設定を行います。

```
# mount /dev/sdb /tmp/drivers
# cd /tmp/drivers
# sh ./setup
# cd /
# umount /tmp/drivers
```

オンボード IDE-RAID/オンボード LAN ドライバディスクを取り出してください。

- (6) /etc/hotplug/usb/usb-storageの作成
vi コマンドにより /etc/hotplug/usb/usb-storage を作成してください。

```
#chroot /mnt/sysimage
# vi /etc/hotplug/usb/usb-storage
```

以下に、ファイルの内容を示します。

```
#!/bin/sh
if /sbin/lsmmod | grep -q usb-storage ; then
/sbin/rmmod usb-storage >& /dev/null
fi
/sbin/modprobe usb-storage >& /dev/null
# sleep 1 # if needed
[ -x /usr/sbin/updfstab ] && /usr/sbin/updfstab
```

ファイルに実行権を追加します。

```
# chmod +755 /etc/hotplug/usb/usb-storage
```

- (7) chroot環境を終了させます。
exit

- (8) [Ctrl]+[Alt]+[F7] で、インストール完了の画面に移行して「終了」を選択します。選択すると、自動的に再起動します。再起動後、“[5.1 カーネルのアップデート](#)”を実施してください。

5.1 カーネルのアップデート

アップデートファイルは、他のシステムでレッドハット株式会社のホームページから入手してください。

以下の手順は、ダウンロードしたファイルを/var/tmp/RHL9 配下に格納した場合の操作を記述します。

[ダウンロードファイル]

```
kernel-2.4.20-30.9.i686.rpm
kernel-BOOT-2.4.20-30.9.i386.rpm
kernel-bigmem-2.4.20-30.9.i686.rpm
kernel-doc-2.4.20-30.9.i386.rpm
kernel-smp-2.4.20-30.9.i686.rpm
kernel-source-2.4.20-30.9.i386.rpm
```

(1) カーネルパッチに問題(破損,改ざんなど)が無いかチェックします。

```
# rpm --import /usr/share/doc/rpm-4.2/RPM-GPG-KEY
# rpm -qa gpg-pubkey* (gpg-pubkey-db42a60e-37ea5438 であることを確認します。)
# cd /var/tmp/RHL9
# rpm -K kernel-*
kernel-2.4.20-30.9.i686.rpm: (sha1) dsa sha1 md5 gpg OK
kernel-BOOT-2.4.20-30.9.i386.rpm: (sha1) dsa sha1 md5 gpg OK
kernel-bigmem-2.4.20-30.9.i686.rpm: (sha1) dsa sha1 md5 gpg OK
kernel-doc-2.4.20-30.9.i386.rpm: (sha1) dsa sha1 md5 gpg OK
kernel-smp-2.4.20-30.9.i686.rpm: (sha1) dsa sha1 md5 gpg OK
kernel-source-2.4.20-30.9.i386.rpm: (sha1) dsa sha1 md5 gpg OK
(全てのファイルで“OK”と表示されている事を確認します。)
```

(2) /etc/modules.conf を編集します。

[編集前]

```
alias scsi_hostadapter ft
alias eth0 bcm5700
alias eth1 bcm5700
alias usb-controller usb-ohci
```

[編集後]

```
#alias scsi_hostadapter ft
#alias eth0 bcm5700
#alias eth1 bcm5700
alias usb-controller usb-ohci
```

(3) カーネルのアップデートを行います。

```
# rpm -Fvh kernel-2.4.20-30.9.i686.rpm ¥
kernel-smp-2.4.20-30.9.i686.rpm ¥
kernel-bigmem-2.4.20-30.9.i686.rpm ¥
kernel-BOOT-2.4.20-30.9.i386.rpm ¥
kernel-doc-2.4.20-30.9.i386.rpm ¥
kernel-source-2.4.20-30.9.i386.rpm
```

“¥” は継続行を意味します。入力は不要です。

- (4) (2)で編集した/etc/modules.conf ファイルを以下のように戻します。

[編集前]

```
#alias scsi_hostadapter ft
#alias eth0 bcm5700
#alias eth1 bcm5700
alias usb-controller usb-ohci
```

[編集後]

```
alias scsi_hostadapter ft
alias eth0 bcm5700
alias eth1 bcm5700
alias usb-controller usb-ohci
```

5.2 ドライバのアップデート

“[Red Hat Linux 9 \(サーバブレード用\)使用上の留意事項の 2.1.1 インストールの事前準備について](#)”で作成したアップデートドライバキットCDより以下の手順でドライバをアップデートしてください。

- (1) ドライバをアップデートするためのユーティリティのインストールをします。
アップデートドライバキット CD をセットします。

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
# cd /mnt/cdrom
# rpm -ivh fsc-utils-0.3-20.i386.rpm
```

- (2) ドライバのアップデートをします。

```
# primesetup -b --allmodules -r /mnt/cdrom
# cd /
# umount /mnt/cdrom
# eject
```

アップデートドライバキット CD を取り出します。

- (3) ご使用のカーネルに合わせて、初期 RAM ディスクファイルの作成をします。

[シングル CPU 向けのカーネルの場合]

```
# cp /boot/initrd-2.4.20-30.9.img /boot/initrd-2.4.20-30.9.img.bak
# mkinitrd -f /boot/initrd-2.4.20-30.9.img 2.4.20-30.9
```

5.3 /boot/grub/grub.conf の編集

以下の手順で/boot/grub/grub.confの編集をします。

grub.conf に“psaux-reconnect”を追記しますが、“psaux-reconnect”の前後に空白を入れてください。

```
# vi /boot/grub/grub.conf
```

[編集前]

```
title Red Hat Linux (2.4.20-30.9)
root (hd0,0)
kernel /vmlinuz-2.4.20-30.9 ro root=LABEL=/
ide0=0x1f0,0x3f6,14 ide1=0x170,0x376,15 ide2=0 ide3=0 ide4=0
ide5=0 ide6=0 ide7=0 ide8=0 ide9=0
initrd /initrd-2.4.20-30.9.img
```

[編集後]

```
title Red Hat Linux (2.4.20-30.9)
root (hd0,0)
kernel /vmlinuz-2.4.20-30.9 ro root=LABEL=/
psaux-reconnect ide0=0x1f0,0x3f6,14 ide1=0x170,0x376,15
ide2=0 ide3=0 ide4=0 ide5=0 ide6=0 ide7=0 ide8=0 ide9=0
initrd /initrd-2.4.20-30.9.img
```

5.4 拡張 LAN カードの認識

PG-1892L を搭載時は、以下の手順でドライバの組み込みをしてください。次回のシステム再起動時から LAN カードが認識されるようになります。

- (1) /etc/modules.conf に以下の編集を行います。(N は設定したネットワークデバイス番号)

```
[PG-1892L 搭載]
alias ethN e1000      追記
```

- (2) netconfig を使用してネットワークの設定を行ってください。

```
# netconfig -d ethN (N は設定するネットワークデバイス番号)
```

- (3) バックアップを作成します。
[シングル CPU 向けのカーネルの場合]

- (4) mkinitrd コマンドにより initrd を作成します。

[シングル CPU 向けのカーネルの場合]

```
# cp /boot/initrd-2.4.20-30.9.img /boot/initrd-2.4.20-30.9.img.bak
  上書きを確認するメッセージが表示されるので “y” を入力し、
  “Enter” を押下してください
# mkinitrd -f /boot/initrd-2.4.20-30.9.img 2.4.20-30.9
```

5.5 システムの再起動

以下の操作にて、システムを再起動します。

```
# shutdown -r now
```

以上で環境設定は完了です。

添付資料 Red Hat Linux 9 インストール手順概要

1. Welcome

ここでは何も入力を要求しません。
[Next]をクリックしてください。

: インストール時、次節の『Language Selection』までが英文で表示されることがあります。
『Language Selection』で、『Japanese』を選択し[Next]をクリックすると、その次の『キーボードの選択』から、日本語で表示されます。

2. Language Selection

ここではインストール中に使用し、システムのデフォルトとして設定する言語を選択します。
『Japanese(日本語)』を選択し、[Next]をクリックしてください。

3. キーボード

ここでは使用するキーボードを選択します。
現在使用しているキーボードに最も適したモデルを選択してください。
同一タイプのキーボードが一覧にない場合は、最も近いGenericタイプを選択してください。
選択後、[次]をクリックしてください。

4. マウスの設定

ここでは使用するマウスを選択します。
現在使用しているマウスに最も適したモデルを選択してください。
選択後、[次]をクリックしてください。

5. アップグレードテスト

ここでは、インストール方法を選択します。
『新規の Red Hat Linux インストールを実行』を選択し、[次]をクリックしてください。

『既存インストールのアップグレードを実行』
『新規の Red Hat Linux インストールを実行』

6. インストールの種類

ここではシステムにインストールするクラスを選択します。
『カスタム』を選択し、[次]をクリックしてください。

7. ディスクパーティション設定

ここではハードディスクドライブのパーティションを設定します。
『Disk Druid』を選択し、パーティションを設定してください。
『自動パーティション設定』
『Disk Druid を使用して手動パーティション設定』

パーティションは次のように設定してください。

| デバイス (1) | 容量 | タイプ | マウントポイント |
|-----------|---------|------|----------|
| /dev/sda1 | 256 MB | ext3 | /boot |
| /dev/sda2 | 4096 MB | ext3 | / |
| /dev/sda3 | 512 MB | swap | |
| 空き (2) | | | |

- 1: デバイスは、PRIMERGY に搭載しているハードディスクドライブのタイプにより異なります。
- 2: 空きは、お客様の必要に応じてパーティションやマウントポイントを設定してお使いください。なお、インストール後に設定することも可能です。

8. ブートローダの設定
ここではブートローダを選択します。
『ブートローダパスワードを使用』を選択し、ブートローダパスワードを設定してください。
ブートローダには『GRUB』を選択してください。(弊社が動作確認した設定です。)
選択後、[次]をクリックしてください。
9. ネットワークの設定
ここではネットワークの設定を行います。
お客様の環境に合わせたネットワーク設定を行ってください。
入力後、[次]をクリックしてください。
10. ファイアウォールの設定
ここではセキュリティレベルを設定します。
デフォルトで『中』が選択されます。(弊社が動作確認した設定です。)
[次]をクリックしてください。
11. 追加言語サポート
ここではシステムで使用する言語を指定します。
『Japanese』が選択されていることを確認し、[次]をクリックしてください。
12. タイムゾーンの選択
ここではタイムゾーンを設定します。
『アジア/東京』が選択されていることを確認して、[次]をクリックしてください。
13. root パスワードを設定
ここではシステムの root(管理者)のパスワードを設定します。(必須)
入力後、[次]をクリックしてください。
14. 認証設定
ここでは認証の設定を行います。必要に応じて設定を行います。
(弊社は、デフォルトの設定で動作確認を行っています。)
[次]をクリックしてください。
15. パッケージグループの設定
ここではパッケージグループを選択します。
以下のパッケージグループのみ選択してください。
 - ・ X Window System
 - ・ GNOME ディスクトップ環境
 - ・ グラフィカルインターネット
 - ・ サーバ設定ツール
 - ・ Web サーバ
 - ・ メールサーバ
 - ・ Windows ファイルサーバ
 - ・ DNS ネームサーバ
 - ・ FTP サーバ
 - ・ ネットワークサーバまた、画面の下部の『個々のパッケージを選択』を選択して、[次]をクリックしてください。

16. 個々のパッケージ選択

ここでは、更に詳細なパッケージの選択を行います。

『フラット表示』をチェック後、以下のパッケージを追加選択してください。

- dhcp を選択します。
- expect を選択します。
- gcc を選択します。
- kernel-source を選択します。
- libpcap を選択します。
- net-snmp , net-snmp-utils , nmap を選択します。
- openldap-clients , openldap-servers を選択します。
- perl-CGI , postfix を選択します。
- radvd , redhat-switch-mail , redhat-switch-mail-gnome , rusers , rusers-server , rwall-server , rwho を選択します。
- sysreport , sysstat を選択します。
- tcl , tk を選択します。
- vnc , vnc-server を選択します。

選択後、[次]をクリックしてください。

17. インストールの準備完了

ここで、[次]をクリックすると、ハードディスクへの書き込みが始まります。

[次]をクリックするまで、前に戻って設定を変更することや、インストールを中止することができます。

[次]をクリックすると、ハードディスクへの書き込みが行なわれるため、インストール前の状態には戻りません。

ここで、インストールプロセスをキャンセルするには、[Ctrl]+[Alt]+[Delete]のキーを同時に押下してシステムを再起動します。

弊社が動作確認したパッケージをインストールするには、インストール CD2・インストール CD3 が必要になります。

画面の指示にしたがって、インストール CD をセットしてください。

完了するまで、しばらく待ちます。

18. ブートディスクの作成

ここで起動ディスクは作成しないでください。

システムが起動しなくなります。

[いいえ、ブートディスクを作成したくないです]を選択して[次]をクリックしてください。

19. グラフィカルインターフェース(X)の設定

ここではビデオカードを設定します。

インストーラが検出したビデオカードが選択されているため、特に変更の必要性はありません。

[次]をクリックしてください。

20. モニタの設定

ここではモニタの選択を行います。

自動的に検出したモニタが選択されます。

お客様の使用しているモニタが選択されていることを確認してください。

なお、モニタが検出されなかった場合は、Generic を選択し最も近いモニタを選択してください。

[次]をクリックしてください。

21. グラフィカル設定のカスタマイズ
ここでは X Window System の設定を行います。
適正なカラー設定と解像度を選択します。

また、システムの起動環境を選択します。特に必要のない限り『テキスト環境』での起動をお勧めします。(弊社が動作確認した設定です。)
選択後、[次]をクリックしてください。

22. おめでとうございます
インストール CD がイジェクトされます。
以上で、Red Hat Linux 9 のインストールが完了です。

インストール完了の画面が表示されたら、終了せずに[Ctrl]+[Alt]+[F2]キーを同時に押して、コマンド入力画面に移行し、“[BX300\(Pentium3\)用インストール作業についての 5. 環境設定](#)” または “[BX300\(Pentium-M\)用インストール作業についての 5. 環境設定](#)”以降を行ってください。

- 以上 -

添付資料 パッケージモジュール一覧(Pentium3 用)

4Suite-0.11.1-13
Canna-3.6-12
Canna-libs-3.6-12
FreeWnn-1.11-34
FreeWnn-common-1.11-34
GConf-1.0.9-10
GConf2-2.2.0-1
Glide3-20010520-25
MAKEDEV-3.3.2-5
ORBit-0.5.17-7
ORBit2-2.6.0-2
Omni-0.7.2-4
Omni-foomatic-0.7.2-4
PyXML-0.7.1-9
SDL-1.2.5-3
SysVinit-2.84-13
VFlib2-2.25.6-10
Wnn6-SDK-1.0-25
Wnn6-SDK-devel-1.0-25
XFree86-100dpi-fonts-4.3.0-2
XFree86-4.3.0-2
XFree86-75dpi-fonts-4.3.0-2
XFree86-Mesa-libGL-4.3.0-2
XFree86-Mesa-libGLU-4.3.0-2
XFree86-base-fonts-4.3.0-2
XFree86-font-utils-4.3.0-2
XFree86-libs-4.3.0-2
XFree86-libs-data-4.3.0-2
XFree86-tools-4.3.0-2
XFree86-truetype-fonts-4.3.0-2
XFree86-twm-4.3.0-2
XFree86-xauth-4.3.0-2
XFree86-xdm-4.3.0-2
XFree86-xf86-4.3.0-2
a2ps-4.13b-28
acl-2.2.3-1
alchemist-1.0.26-1
anacron-2.3-25
apmd-3.0.2-18
arts-1.1-7
ash-0.3.8-8
aspell-0.33.7.1-21
at-3.1.8-33
atk-1.2.0-2
attr-2.2.0-1
audiofile-0.2.3-6
authconfig-4.3.4-1
authconfig-gtk-4.3.4-1
autofs-3.1.7-36
basesystem-8.0-2
bash-2.05b-20
bc-1.06-12
bind-9.2.1-16
bind-utils-9.2.1-16
binutils-2.13.90.0.18-9
bitmap-fonts-0.3-2
bonobo-1.0.22-4
bonobo-activation-2.2.0-4
bonobo-conf-0.16-5
bzip2-1.0.2-8
bzip2-libs-1.0.2-8
caching-nameserver-7.2-7
cdparanoia-libs-alpha9.8-15
cdrecord-2.0-6
chkconfig-1.3.8-1
chkfontpath-1.9.7-1
cipe-1.4.5-16
compat-gcc-7.3-2.96.118
compat-gcc-c++-7.3-2.96.118
compat-libstdc++-7.3-2.96.118
compat-libstdc++-devel-7.3-2.96.118
comps-9-0.20030313
comps-extras-8.0.94-1
control-center-2.2.0.1-9
coreutils-4.5.3-19
cpio-2.5-3
cpp-3.2.2-5
cracklib-2.7-21
cracklib-dicts-2.7-21
crontabs-1.10-5
cups-1.1.17-13
cups-libs-1.1.17-13
curl-7.9.8-5
cyrus-sasl-2.1.10-4
cyrus-sasl-md5-2.1.10-4
cyrus-sasl-plain-2.1.10-4
db4-4.0.14-20
dbskkd-cdb-1.01-18
desktop-backgrounds-basic-2.0-14
desktop-backgrounds-extra-2.0-14
desktop-file-utils-0.3-5
desktop-printing-0.1.10-6
dev-3.3.2-5
devlabel-0.26.08-3
dhclient-3.0p11-23
dhcp-3.0p11-23
diffutils-2.8.1-6
docbook-dtds-1.0-17
dos2unix-3.1-15
dosfstools-2.8-6
dump-0.4b28-7
e2fsprogs-1.32-6
ed-0.2-31
eel2-2.2.1-3
eject-2.0.13-2
elfutils-0.76-3
elfutils-libelf-0.76-3
eog-2.2.0-1
esound-0.2.28-4
ethtool-1.6-5
evolution-1.2.2-4
expat-1.95.5-2
expect-5.38.0-88
fam-2.6.8-9

fbset-2.1-13
 file-3.39-9
 file-roller-2.2.1-2
 filesystem-2.2.1-3
 findutils-4.1.7-9
 finger-0.17-16
 finger-server-0.17-16
 firstboot-1.0.5-11
 fontconfig-2.1-9
 fontilus-0.3-4
 fonts-ja-8.0-7
 foomatic-2.0.2-15
 freetype-2.1.3-6
 fsc-utils-0.3-12
 ftp-0.17-17
 gail-1.2.0-1
 gaim-0.59.8-0
 gal-0.23-1
 gawk-3.1.1-9
 gcc-3.2.2-5
 gconf-editor-0.4.0-3
 gd-1.8.4-11
 gdbm-1.8.0-20
 gdk-pixbuf-0.18.0-7
 gdk-pixbuf-gnome-0.18.0-7
 gdm-2.4.1.3-5
 gedit-2.2.0-1
 gftp-2.0.14-2
 ggv-1.99.97-2
 ghostscript-7.05-32
 ghostscript-fonts-5.50-9
 gimp-print-4.2.4-5
 gimp-print-utils-4.2.4-5
 glib-1.2.10-10
 glib2-2.2.1-1
 glibc-2.3.2-11.9
 glibc-common-2.3.2-11.9
 glibc-devel-2.3.2-11.9
 glibc-kernheaders-2.4-8.10
 gmp-4.1.2-2
 gnome-applets-2.2.0-8
 gnome-audio-1.4.0-6
 gnome-desktop-2.2.0.1-4
 gnome-icon-theme-1.0.0-4
 gnome-libs-1.4.1.2.90-32
 gnome-media-2.2.1.1-4
 gnome-mime-data-2.2.0-1
 gnome-panel-2.2.0.1-9
 gnome-pilot-0.1.71-2
 gnome-print-0.37-4
 gnome-python2-1.99.14-5
 gnome-python2-bonobo-1.99.14-5
 gnome-python2-canvas-1.99.14-5
 gnome-python2-gtkhtml2-1.99.14-5
 gnome-session-2.2.0.2-4
 gnome-spell-0.5-5
 gnome-system-monitor-2.0.4-2
 gnome-terminal-2.2.1-3
 gnome-themes-2.2-3
 gnome-user-docs-2.0.1-3
 gnome-utils-2.2.0.3-2
 gnome-vfs-1.0.5-13
 gnome-vfs-extras-0.2.0-5
 gnome-vfs2-2.2.2-4
 gnome-vfs2-extras-0.99.10-1
 gnupg-1.2.1-3
 gpg-pubkey-db42a60e-37ea5438
 gpm-1.19.3-27
 gqview-1.2.1-3
 grep-2.5.1-7
 groff-1.18.1-20
 grub-0.93-4
 gstreamer-0.6.0-4
 gstreamer-plugins-0.6.0-6
 gstreamer-tools-0.6.0-4
 gthumb-2.0.1-1
 gtk+-1.2.10-25
 gtk-engines-0.11-16
 gtk2-2.2.1-4
 gtk2-engines-2.2.0-2
 gtkhtml-1.1.8-5
 gtkhtml2-2.2.0-5
 gzip-1.3.3-9
 hdparm-5.2-4
 hesiod-3.0.2-26
 hotplug-2002_04_01-17
 hpijs-1.3-32
 htmlview-2.0.0-10
 httpd-2.0.40-21
 httpd-manual-2.0.40-21
 hwbrowser-0.8-9
 hwcrypto-1.0-14
 hwdata-0.75-1
 imap-2001a-18
 imlib-1.9.13-12
 indexhtml-9-3
 info-4.3-5
 initscripts-7.14-1
 intltool-0.25-2
 iproute-2.4.7-7
 iptables-1.2.7a-2
 iputils-20020927-2
 irda-utils-0.9.14-9
 isdn4k-utils-3.1-62
 jcode.pl-2.13-8
 jfsutils-1.0.17-6
 jisksp14-0.1-11
 jisksp16-1990-0.1-11
 jwhois-3.2.1-1
 kakasi-2.3.4-10
 kakasi-devel-2.3.4-10
 kakasi-dict-2.3.4-10
 kappa20-0.3-12
 kbd-1.08-4
 kcc-2.3-16
 kernel-2.4.20-20.9
 kernel-pcmcia-cs-3.1.31-13
 kernel-smp-2.4.20-20.9

kernel-source-2.4.20-20.9
kinput2-canna-wnn6-v3.1-4
knm_new-1.1-10
kon2-0.3.9b-16
kon2-fonts-0.3.9b-16
krb5-libs-1.2.7-10
krbafs-1.1.1-9
kterm-6.2.0-36
kudzu-0.99.99-1
less-378-7
lftp-2.6.3-3
lha-1.14i-9
libIDL-0.8.0-7
libacl-2.2.3-1
libart_lgpl-2.3.11-2
libattr-2.2.0-1
libbonobo-2.2.0-1
libbonoboui-2.2.0-1
libcap-1.10-15
libcapplet0-1.4.0.1-11
libgal21-0.23-1
libgcc-3.2.2-5
libghttp-1.0.9-7
libglade-0.17-11
libglade2-2.0.1-3
libgnome-2.2.0.1-8
libgnomecanvas-2.2.0.1-1
libgnomeprint-1.116.0-6
libgnomeprint15-0.37-4
libgnomeprint22-2.2.1.1-3
libgnomeprintui-1.116.0-4
libgnomeprintui22-2.2.1.1-1
libgnomeui-2.2.0.1-5
libgsf-1.6.0-4
libgtop2-2.0.0-10
libjpeg-6b-26
libmng-1.0.4-3
libogg-1.0-4
libpcap-0.7.2-1
libpng-1.2.2-16
libpng10-1.0.13-8
libraw1394-0.9.0-8
librsvg2-2.2.3-1
libstdc++-3.2.2-5
libtermcap-2.0.8-35
libtiff-3.5.7-11
libtool-libs-1.4.3-5
libungif-4.1.0-15
libuser-0.51.7-1
libvorbis-1.0-7
libwnck-2.2.1-2
libwvstreams-3.70-8
libxml-1.8.17-8
libxml2-2.5.4-1
libxml2-python-2.5.4-1
libxslt-1.0.27-3
lilo-21.4.4-22
linc-1.0.1-1
lockdev-1.0.0-23
logrotate-3.6.8-1
logwatch-4.3.1-2
lokit-0.50-22
losetup-2.11y-9
lrzsz-0.12.20-16
lsf-4.63-4
lv-4.49.4-9
lvm-1.0.3-12
m4-1.4.1-13
magicdev-1.1.4-4
mailcap-2.1.13-1
mailx-8.1.1-28
make-3.79.1-17
man-1.5k-6
man-pages-1.53-3
man-pages-ja-0.6-20030115.1
metacity-2.4.34-3
mikmod-3.1.6-20
mingetty-1.01-1
minicom-2.00.0-12
mkbootdisk-1.5.1-1
mkinitrd-3.4.42-1
mkisofs-2.0-6
mktemp-1.5-18
mod_perl-1.99_07-5
mod_python-3.0.1-3
mod_ssl-2.0.40-21
modutils-2.4.22-8
mount-2.11y-9
mozilla-1.2.1-26
mozilla-mail-1.2.1-26
mozilla-nspr-1.2.1-26
mozilla-nss-1.2.1-26
mozilla-psm-1.2.1-26
mpage-2.5.3-3
mt-st-0.7-10
mtools-3.9.8-7
mtr-0.52-2
mtr-gtk-0.52-2
namazu-2.0.12-5
namazu-devel-2.0.12-5
nautilus-2.2.1-5
nautilus-cd-burner-0.3.2-1
nautilus-media-0.2.1-2
ncurses-5.3-4
net-snmp-5.0.6-17
net-snmp-utils-5.0.6-17
net-tools-1.60-12
netconfig-0.8.14-2
newt-0.51.4-1
nfs-utils-1.0.1-2.9
nkf-2.01-2
nmap-3.00-4
nscd-2.3.2-11.9
nss_ldap-202-5
ntp-4.1.2-0.rc1.2
ntsysv-1.3.8-1
nvi-m17n-1.79-20011024.10
nvi-m17n-canna-1.79-20011024.10

oaf-0.6.10-5
openjade-1.3.1-12
openldap-2.0.27-8
openldap-clients-2.0.27-8
openldap-servers-2.0.27-8
openssh-3.5p1-6
openssh-askpass-3.5p1-6
openssh-askpass-gnome-3.5p1-6
openssh-clients-3.5p1-6
openssh-server-3.5p1-6
openssl-0.9.7a-2
pam-0.75-48
pam_krb5-1.60-1
pam_smb-1.1.6-7
pan-0.13.3-3
pango-1.2.1-3
parted-1.6.3-11
passwd-0.68-3
patch-2.5.4-16
pax-3.0-6
pciutils-2.1.10-7
pcre-3.9-10
perl-5.8.0-88
perl-CGI-2.81-88
perl-DateManip-5.40-30
perl-File-MMAGIC-1.16-3
perl-Filter-1.29-3
perl-HTML-Parser-3.26-17
perl-HTML-Tagset-3.03-28
perl-NKF-1.71-10
perl-Parse-Yapp-1.05-30
perl-Text-Kakasi-1.05-5
perl-URI-1.21-7
perl-XML-Dumper-0.4-25
perl-XML-Encoding-1.01-23
perl-XML-Grove-0.46alpha-25
perl-XML-Parser-2.31-15
perl-XML-Twig-3.09-3
perl-libwww-perl-5.65-6
perl-libxml-enno-1.02-29
perl-libxml-perl-0.07-28
php-4.2.2-17
php-imap-4.2.2-17
php-ldap-4.2.2-17
pilot-link-0.11.5-4
pinfo-0.6.6-4
pnm2ppa-1.04-7
popt-1.8-0.69
portmap-4.0-54
postfix-1.1.11-11
ppp-2.4.1-10
printman-0.0.1-0.20021202.12
procmail-3.22-9
procps-2.0.11-6
psmisc-21.2-4
pspell-0.12.2-16
psutils-1.17-19
pxe-0.1-36
pyOpenSSL-0.5.1-8
pygtk2-1.99.14-4
pygtk2-libglade-1.99.14-4
pyorbit-1.99.3-5
python-2.2.2-26
python-optik-1.4-2
pyx86config-0.3.5-1
qt-3.1.1-6
qtcups-2.0-15
quota-3.06-9
radvd-0.7.2-2
raidtools-1.00.3-2
rdate-1.3-2
rdist-6.1.5-26
readline-4.3-5
redhat-artwork-0.73-1
redhat-config-bind-1.9.0-13
redhat-config-date-1.5.9-8
redhat-config-httpd-1.0.1-18
redhat-config-keyboard-1.0.3-4
redhat-config-language-1.0.4-1
redhat-config-mouse-1.0.5-1
redhat-config-network-1.2.0-2
redhat-config-network-tui-1.2.0-2
redhat-config-nfs-1.0.4-5
redhat-config-packages-1.1.8-1
redhat-config-printer-0.6.47-1
redhat-config-printer-gui-0.6.47-1
redhat-config-rootpassword-1.0.2-4
redhat-config-samba-1.0.4-1
redhat-config-securitylevel-1.1.1-3
redhat-config-services-0.8.4-1
redhat-config-soundcard-1.0.4-2
redhat-config-users-1.1.5-7
redhat-config-xfree86-0.7.3-2
redhat-logos-1.1.12-1
redhat-logviewer-0.8.5-1
redhat-menus-0.38-1
redhat-release-9-3
redhat-switch-mail-0.5.17-1
redhat-switch-mail-gnome-0.5.17-1
reiserfs-utils-3.6.4-5
rhn-applet-2.0.9-0.9.0.1
rhnlib-1.0-4
rhpl-0.93-1
rmt-0.4b28-7
rootfiles-7.2-6
rp-pppoe-3.5-2
rpm-4.2-0.69
rpm-python-4.2-0.69
rsh-0.17-14
rsh-server-0.17-14
rsync-2.5.5-4
rusers-0.17-25
rusers-server-0.17-25
rwall-server-0.17-17
rwho-0.17-18
samba-2.2.7a-7.9.0
samba-client-2.2.7a-7.9.0
samba-common-2.2.7a-7.9.0

scrollkeeper-0.3.11-3
sed-4.0.5-1
sendmail-8.12.8-4
sendmail-cf-8.12.8-4
setserial-2.17-12
setup-2.5.25-1
setuptools-1.12-1
sgml-common-0.6.3-14
shadow-utils-4.0.3-6
skkdic-20030211-1
skkinput-2.06.3-3
slang-1.4.5-16
slocate-2.6-8
soup-0.7.10-4
sox-12.17.3-11
speckpo-9.0-1
squid-2.5.STABLE1-2
star-1.5a08-4
startup-notification-0.5-1
statserial-1.1-32
stunnel-4.04-3
sudo-1.6.6-3
switchdesk-3.9.8-15
switchdesk-gnome-3.9.8-15
syslogd-1.4.1-12
syslinux-2.00-4
sysreport-1.3.1-2
sysstat-4.0.7-3
talk-0.17-20
talk-server-0.17-20
tar-1.13.25-11
tcl-8.3.5-88
tcp_wrappers-7.6-34
tcpdump-3.7.2-1
tcsh-6.12-4
telnet-0.17-25
telnet-server-0.17-25
termcap-11.0.1-16
time-1.7-21
tk-8.3.5-88
tmpwatch-2.8.4-5
traceroute-1.4a12-9
ttfonts-ja-1.2-21
ttfprint-0.9-8
ttmkfdir-3.0.9-1
tux-2.2.9-1
unix2dos-2.2-19
unzip-5.50-7
up2date-3.1.23-1
up2date-gnome-3.1.23-1
urw-fonts-2.0-29
usbutils-0.9-10
usermode-1.67-2
usermode-gtk-1.67-2
utempter-0.5.2-16
util-linux-2.11y-9
vconfig-1.6-2
vim-common-6.1-29
vim-minimal-6.1-29
vixie-cron-3.0.1-74
vnc-3.3.3r2-47
vnc-server-3.3.3r2-47
vsftpd-1.1.3-8
vte-0.10.25-1
watanabe-vf-1.0-11
webalizer-2.01_10-11
wget-1.8.2-9
which-2.14-5
wireless-tools-25-8
words-2-21
wvdial-1.53-9
xchat-1.8.11-7
xinetd-2.3.10-6
xinitrc-3.32-1
xisdnload-1.38-62
xloadimage-4.1-27
xml-common-0.6.3-14
xscreensaver-4.07-2
xsri-2.1.0-5
yelp-2.2.0-3
yp-tools-2.7-5
ypbind-1.11-4
ypserv-2.6-2
zip-2.3-16
zlib-1.1.4-8

添付資料 パッケージモジュール一覧(Pentium-M 用)

4Suite-0.11.1-13
Canna-3.6-12
Canna-libs-3.6-12
FreeWnn-1.11-34
FreeWnn-common-1.11-34
GConf-1.0.9-10
GConf2-2.2.0-1
Glide3-20010520-25
MAKEDEV-3.3.2-5
ORBit-0.5.17-7
ORBit2-2.6.0-2
Omni-0.7.2-4
Omni-foomatic-0.7.2-4
PyXML-0.7.1-9
SDL-1.2.5-3
SysVinit-2.84-13
VFLib2-2.25.6-10
Wnn6-SDK-1.0-25
Wnn6-SDK-devel-1.0-25
XFree86-100dpi-fonts-4.3.0-2
XFree86-4.3.0-2
XFree86-75dpi-fonts-4.3.0-2
XFree86-Mesa-libGL-4.3.0-2
XFree86-Mesa-libGLU-4.3.0-2
XFree86-base-fonts-4.3.0-2
XFree86-font-utils-4.3.0-2
XFree86-libs-4.3.0-2
XFree86-libs-data-4.3.0-2
XFree86-tools-4.3.0-2
XFree86-truetype-fonts-4.3.0-2
XFree86-twm-4.3.0-2
XFree86-xauth-4.3.0-2
XFree86-xdm-4.3.0-2
XFree86-xf86-4.3.0-2
a2ps-4.13b-28
acl-2.2.3-1
alchemist-1.0.26-1
anacron-2.3-25
apmd-3.0.2-18
arts-1.1-7
ash-0.3.8-8
aspell-0.33.7.1-21
at-3.1.8-33
atk-1.2.0-2
attr-2.2.0-1
audiofile-0.2.3-6
authconfig-4.3.4-1
authconfig-gtk-4.3.4-1
autofs-3.1.7-36
basesystem-8.0-2
bash-2.05b-20
bc-1.06-12
bind-9.2.1-16
bind-utils-9.2.1-16
binutils-2.13.90.0.18-9
bitmap-fonts-0.3-2
bonobo-1.0.22-4
bonobo-activation-2.2.0-4
bonobo-conf-0.16-5
bzip2-1.0.2-8
bzip2-libs-1.0.2-8
caching-nameserver-7.2-7
cdparanoia-libs-alpha9.8-15
cdrecord-2.0-6
chkconfig-1.3.8-1
chkfontpath-1.9.7-1
cipe-1.4.5-16
compat-gcc-7.3-2.96.118
compat-gcc-c++-7.3-2.96.118
compat-libstdc++-7.3-2.96.118
compat-libstdc++-devel-7.3-2.96.118
comps-9-0.20030227
comps-extras-8.0.94-1
control-center-2.2.0.1-9
coreutils-4.5.3-19
cpio-2.5-3
cpp-3.2.2-5
cracklib-2.7-21
cracklib-dicts-2.7-21
crontabs-1.10-5
cups-1.1.17-13
cups-libs-1.1.17-13
curl-7.9.8-5
cyrus-sasl-2.1.10-4
cyrus-sasl-md5-2.1.10-4
cyrus-sasl-plain-2.1.10-4
db4-4.0.14-20
dbskkd-cdb-1.01-18
desktop-backgrounds-basic-2.0-14
desktop-backgrounds-extra-2.0-14
desktop-file-utils-0.3-5
desktop-printing-0.1.10-6
dev-3.3.2-5
devlabel-0.26.08-3
dhclient-3.0p11-23
dhcp-3.0p11-23
diffutils-2.8.1-6
docbook-dtds-1.0-17
dos2unix-3.1-15
dosfstools-2.8-6
dump-0.4b28-7
e2fsprogs-1.32-6
ed-0.2-31
eel2-2.2.1-3
eject-2.0.13-2
elfutils-0.76-3
elfutils-libelf-0.76-3
eog-2.2.0-1
esound-0.2.28-4
ethtool-1.6-5
evolution-1.2.2-4
expat-1.95.5-2
expect-5.38.0-88
fam-2.6.8-9

fbset-2.1-13
 file-3.39-9
 file-roller-2.2.1-2
 filesystem-2.2.1-3
 findutils-4.1.7-9
 finger-0.17-16
 finger-server-0.17-16
 firstboot-1.0.5-11
 fontconfig-2.1-9
 fontilus-0.3-4
 fonts-ja-8.0-7
 foomatic-2.0.2-15
 freetype-2.1.3-6
 fsc-utils-0.3-20
 ftp-0.17-17
 gail-1.2.0-1
 gaim-0.59.8-0
 gal-0.23-1
 gawk-3.1.1-9
 gcc-3.2.2-5
 gconf-editor-0.4.0-3
 gd-1.8.4-11
 gdbm-1.8.0-20
 gdk-pixbuf-0.18.0-7
 gdk-pixbuf-gnome-0.18.0-7
 gdm-2.4.1.3-5
 gedit-2.2.0-1
 gftp-2.0.14-2
 ggv-1.99.97-2
 ghostscript-7.05-32
 ghostscript-fonts-5.50-9
 gimp-print-4.2.4-5
 gimp-print-utils-4.2.4-5
 glib-1.2.10-10
 glib2-2.2.1-1
 glibc-2.3.2-5
 glibc-common-2.3.2-5
 glibc-devel-2.3.2-5
 glibc-kernheaders-2.4-8.10
 gmp-4.1.2-2
 gnome-applets-2.2.0-8
 gnome-audio-1.4.0-6
 gnome-desktop-2.2.0.1-4
 gnome-icon-theme-1.0.0-4
 gnome-libs-1.4.1.2.90-32
 gnome-media-2.2.1.1-4
 gnome-mime-data-2.2.0-1
 gnome-panel-2.2.0.1-9
 gnome-pilot-0.1.71-2
 gnome-print-0.37-4
 gnome-python2-1.99.14-5
 gnome-python2-bonobo-1.99.14-5
 gnome-python2-canvas-1.99.14-5
 gnome-python2-gtkhtml2-1.99.14-5
 gnome-session-2.2.0.2-4
 gnome-spell-0.5-5
 gnome-system-monitor-2.0.4-2
 gnome-terminal-2.2.1-3
 gnome-themes-2.2-3
 gnome-user-docs-2.0.1-3
 gnome-utils-2.2.0.3-2
 gnome-vfs-1.0.5-13
 gnome-vfs-extras-0.2.0-5
 gnome-vfs2-2.2.2-4
 gnome-vfs2-extras-0.99.10-1
 gnupg-1.2.1-3
 gpg-pubkey-db42a60e-37ea5438
 gpm-1.19.3-27
 gqview-1.2.1-3
 grep-2.5.1-7
 groff-1.18.1-20
 grub-0.93-4
 gstreamer-0.6.0-4
 gstreamer-plugins-0.6.0-6
 gstreamer-tools-0.6.0-4
 gthumb-2.0.1-1
 gtk+-1.2.10-25
 gtk-engines-0.11-16
 gtk2-2.2.1-4
 gtk2-engines-2.2.0-2
 gtkhtml-1.1.8-5
 gtkhtml2-2.2.0-5
 gzip-1.3.3-9
 hdparm-5.2-4
 hesiod-3.0.2-26
 hotplug-2002_04_01-17
 hpijs-1.3-32
 htmlview-2.0.0-10
 httpd-2.0.40-21
 httpd-manual-2.0.40-21
 hwbrowser-0.8-9
 hwcrypto-1.0-14
 hwdata-0.75-1
 imap-2001a-18
 imlib-1.9.13-12
 indexhtml-9-3
 info-4.3-5
 initscripts-7.13-1
 intltool-0.25-2
 iproute-2.4.7-7
 iptables-1.2.7a-2
 iputils-20020927-2
 irda-utils-0.9.14-9
 isdn4k-utils-3.1-62
 jcode.pl-2.13-8
 jfsutils-1.0.17-6
 jisksp14-0.1-11
 jisksp16-1990-0.1-11
 jwhois-3.2.1-1
 kakasi-2.3.4-10
 kakasi-devel-2.3.4-10
 kakasi-dict-2.3.4-10
 kappa20-0.3-12
 kbd-1.08-4
 kcc-2.3-16
 kernel-2.4.20-30.9
 kernel-pcmcia-cs-3.1.31-13
 kernel-source-2.4.20-30.9

kinput2-canna-wnn6-v3.1-4
 knm_new-1.1-10
 kon2-0.3.9b-16
 kon2-fonts-0.3.9b-16
 krb5-libs-1.2.7-8
 krbafs-1.1.1-9
 kterm-6.2.0-36
 kudzu-0.99.99-1
 less-378-7
 lftp-2.6.3-3
 lha-1.14i-9
 libIDL-0.8.0-7
 libacl-2.2.3-1
 libart_lgpl-2.3.11-2
 libattr-2.2.0-1
 libbonobo-2.2.0-1
 libbonoboui-2.2.0-1
 libcap-1.10-15
 libcapplet0-1.4.0.1-11
 libgal21-0.23-1
 libgcc-3.2.2-5
 libghttp-1.0.9-7
 libglade-0.17-11
 libglade2-2.0.1-3
 libgnome-2.2.0.1-8
 libgnomecanvas-2.2.0.1-1
 libgnomeprint-1.116.0-6
 libgnomeprint15-0.37-4
 libgnomeprint22-2.2.1.1-3
 libgnomeprintui-1.116.0-4
 libgnomeprintui22-2.2.1.1-1
 libgnomeui-2.2.0.1-5
 libgsf-1.6.0-4
 libgtop2-2.0.0-10
 libjpeg-6b-26
 libmng-1.0.4-3
 libogg-1.0-4
 libpcap-0.7.2-1
 libpng-1.2.2-16
 libpng10-1.0.13-8
 libraw1394-0.9.0-8
 librsvg2-2.2.3-1
 libstdc++-3.2.2-5
 libtermcap-2.0.8-35
 libtiff-3.5.7-11
 libtool-libs-1.4.3-5
 libungif-4.1.0-15
 libuser-0.51.7-1
 libvorbis-1.0-7
 libwnck-2.2.1-2
 libwvstreams-3.70-8
 libxml-1.8.17-8
 libxml2-2.5.4-1
 libxml2-python-2.5.4-1
 libxslt-1.0.27-3
 lilo-21.4.4-22
 linc-1.0.1-1
 lockdev-1.0.0-23
 logrotate-3.6.8-1
 logwatch-4.3.1-2
 lokkit-0.50-22
 losetup-2.11y-9
 lrzsz-0.12.20-16
 lsof-4.63-4
 lv-4.49.4-9
 lvm-1.0.3-12
 m4-1.4.1-13
 magicdev-1.1.4-4
 mailcap-2.1.13-1
 mailx-8.1.1-28
 make-3.79.1-17
 man-1.5k-6
 man-pages-1.53-3
 man-pages-ja-0.6-20030115.1
 metacity-2.4.34-3
 mikmod-3.1.6-20
 mingetty-1.01-1
 minicom-2.00.0-12
 mkbootdisk-1.5.1-1
 mkinitrd-3.4.42-1
 mkisofs-2.0-6
 mktemp-1.5-18
 mod_perl-1.99_07-5
 mod_python-3.0.1-3
 mod_ssl-2.0.40-21
 modutils-2.4.22-8
 mount-2.11y-9
 mozilla-1.2.1-26
 mozilla-mail-1.2.1-26
 mozilla-nspr-1.2.1-26
 mozilla-nss-1.2.1-26
 mozilla-psm-1.2.1-26
 mpage-2.5.3-3
 mt-st-0.7-10
 mtools-3.9.8-7
 mtr-0.52-2
 mtr-gtk-0.52-2
 namazu-2.0.12-5
 namazu-devel-2.0.12-5
 nautilus-2.2.1-5
 nautilus-cd-burner-0.3.2-1
 nautilus-media-0.2.1-2
 ncurses-5.3-4
 net-snmp-5.0.6-17
 net-snmp-utils-5.0.6-17
 net-tools-1.60-12
 netconfig-0.8.14-2
 newt-0.51.4-1
 nfs-utils-1.0.1-2.9
 nkf-2.01-2
 nmap-3.00-4
 nscd-2.3.2-5
 nss_ldap-202-5
 ntp-4.1.2-0.rc1.2
 ntsysv-1.3.8-1
 nvi-m17n-1.79-20011024.10
 nvi-m17n-canna-1.79-20011024.10
 oaf-0.6.10-5

openjade-1.3.1-12
 openldap-2.0.27-8
 openldap-clients-2.0.27-8
 openldap-servers-2.0.27-8
 openssh-3.5p1-6
 openssh-askpass-3.5p1-6
 openssh-askpass-gnome-3.5p1-6
 openssh-clients-3.5p1-6
 openssh-server-3.5p1-6
 openssl-0.9.7a-2
 pam-0.75-48
 pam_krb5-1.60-1
 pam_smb-1.1.6-7
 pan-0.13.3-3
 pango-1.2.1-3
 parted-1.6.3-11
 passwd-0.68-3
 patch-2.5.4-16
 pax-3.0-6
 pciutils-2.1.10-7
 pcre-3.9-10
 perl-5.8.0-88
 perl-CGI-2.81-88
 perl-DateManip-5.40-30
 perl-File-MMagic-1.16-3
 perl-Filter-1.29-3
 perl-HTML-Parser-3.26-17
 perl-HTML-Tagset-3.03-28
 perl-NKF-1.71-10
 perl-Parse-Yapp-1.05-30
 perl-Text-Kakasi-1.05-5
 perl-URI-1.21-7
 perl-XML-Dumper-0.4-25
 perl-XML-Encoding-1.01-23
 perl-XML-Grove-0.46alpha-25
 perl-XML-Parser-2.31-15
 perl-XML-Twig-3.09-3
 perl-libwww-perl-5.65-6
 perl-libxml-enno-1.02-29
 perl-libxml-perl-0.07-28
 php-4.2.2-17
 php-imap-4.2.2-17
 php-ldap-4.2.2-17
 pilot-link-0.11.5-4
 pinfo-0.6.6-4
 pnm2ppa-1.04-7
 popt-1.8-0.69
 portmap-4.0-54
 postfix-1.1.11-11
 ppp-2.4.1-10
 printman-0.0.1-0.20021202.12
 procmail-3.22-9
 procps-2.0.11-6
 psmisc-21.2-4
 pspell-0.12.2-16
 psutils-1.17-19
 pxe-0.1-36
 pyOpenSSL-0.5.1-8
 pygtk2-1.99.14-4
 pygtk2-libglade-1.99.14-4
 pyorbit-1.99.3-5
 python-2.2.2-26
 python-optik-1.4-2
 pyxf86config-0.3.5-1
 qt-3.1.1-6
 qtcups-2.0-15
 quota-3.06-9
 radvd-0.7.2-2
 raidtools-1.00.3-2
 rdate-1.3-2
 rdist-6.1.5-26
 readline-4.3-5
 redhat-artwork-0.73-1
 redhat-config-bind-1.9.0-13
 redhat-config-date-1.5.9-8
 redhat-config-httpd-1.0.1-18
 redhat-config-keyboard-1.0.3-4
 redhat-config-language-1.0.4-1
 redhat-config-mouse-1.0.5-1
 redhat-config-network-1.2.0-2
 redhat-config-network-tui-1.2.0-2
 redhat-config-nfs-1.0.4-5
 redhat-config-packages-1.1.8-1
 redhat-config-printer-0.6.47-1
 redhat-config-printer-gui-0.6.47-1
 redhat-config-rootpassword-1.0.2-4
 redhat-config-samba-1.0.4-1
 redhat-config-securitylevel-1.1.1-3
 redhat-config-services-0.8.4-1
 redhat-config-soundcard-1.0.4-2
 redhat-config-users-1.1.5-7
 redhat-config-xfree86-0.7.3-2
 redhat-logos-1.1.12-1
 redhat-logviewer-0.8.5-1
 redhat-menus-0.38-1
 redhat-release-9-3
 redhat-switch-mail-0.5.17-1
 redhat-switch-mail-gnome-0.5.17-1
 reiserfs-utils-3.6.4-5
 rhn-applet-2.0.8-1
 rhnlib-1.0-4
 rhpl-0.93-1
 rmt-0.4b28-7
 rootfiles-7.2-6
 rp-pppoe-3.5-2
 rpm-4.2-0.69
 rpm-python-4.2-0.69
 rsh-0.17-14
 rsh-server-0.17-14
 rsync-2.5.5-4
 rusers-0.17-25
 rusers-server-0.17-25
 rwall-server-0.17-17
 rwho-0.17-18
 samba-2.2.7a-6
 samba-client-2.2.7a-6
 samba-common-2.2.7a-6
 scrollkeeper-0.3.11-3

sed-4.0.5-1
sendmail-8.12.8-4
sendmail-cf-8.12.8-4
setserial-2.17-12
setup-2.5.25-1
setuptools-1.12-1
sgml-common-0.6.3-14
shadow-utils-4.0.3-6
skkdic-20030211-1
skkinput-2.06.3-3
slang-1.4.5-16
slocate-2.6-8
soup-0.7.10-4
sox-12.17.3-11
specspo-9.0-1
squid-2.5.STABLE1-2
star-1.5a08-4
startup-notification-0.5-1
statserial-1.1-32
stunnel-4.04-3
sudo-1.6.6-3
switchdesk-3.9.8-15
switchdesk-gnome-3.9.8-15
syslogd-1.4.1-12
syslinux-2.00-4
sysreport-1.3.1-2
sysstat-4.0.7-3
talk-0.17-20
talk-server-0.17-20
tar-1.13.25-11
tcl-8.3.5-88
tcp_wrappers-7.6-34
tcpdump-3.7.2-1
tcsh-6.12-4
telnet-0.17-25
telnet-server-0.17-25
termcap-11.0.1-16
time-1.7-21
tk-8.3.5-88
tmpwatch-2.8.4-5
traceroute-1.4a12-9
ttfonts-ja-1.2-21
tftp-0.9-8
ttmkfdir-3.0.9-1
tux-2.2.9-1
unix2dos-2.2-19
unzip-5.50-7
up2date-3.1.23-1
up2date-gnome-3.1.23-1
urw-fonts-2.0-29
usbutils-0.9-10
usermode-1.67-2
usermode-gtk-1.67-2
utempter-0.5.2-16
util-linux-2.11y-9
vconfig-1.6-2
vim-common-6.1-29
vim-minimal-6.1-29
vixie-cron-3.0.1-74
vnc-3.3.3r2-47
vnc-server-3.3.3r2-47
vsftpd-1.1.3-7
vte-0.10.25-1
watanabe-vf-1.0-11
webalizer-2.01_10-11
wget-1.8.2-9
which-2.14-5
wireless-tools-25-8
words-2-21
wvdial-1.53-9
xchat-1.8.11-7
xinetd-2.3.10-6
xinitrc-3.32-1
xisdnload-1.38-62
xloadimage-4.1-27
xml-common-0.6.3-14
xscreensaver-4.07-2
xsri-2.1.0-5
yelp-2.2.0-3
yp-tools-2.7-5
ypbind-1.11-4
ypserv-2.6-2
zip-2.3-16
zlib-1.1.4-8